

ほっかいどうの社会保障

2020年5月22日

北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

介護現場から悲鳴 介護に笑顔を！道連絡会 緊急感染対策アンケート

回答FAX ぞくぞく 初日だけで350件超える

新型コロナウイルス災害は、介護分野にも大きな影響を与えています。

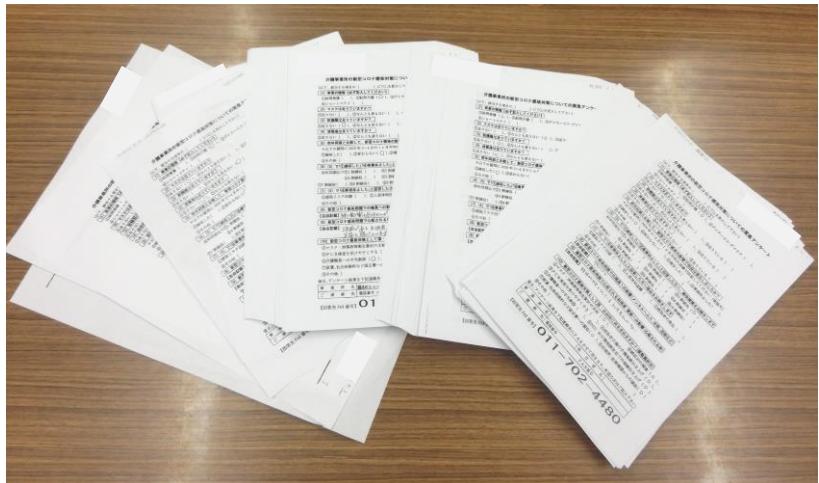
介護職場では、感染を防ぐための衛生材料などが不足しています。感染予防などで事業縮小や利用者減により収入が減り、経営の存続は危ぶまれる事業所も。

介護職員は感染のリスク背中あわせで、毎日緊張して仕事をしています。

介護利用者や家族は、事業所の休止や規模の縮小など介護制度を利用できずに家族の介護負担が増え、介護制度の利用中止で心身機能が衰える方もいます。

「介護に笑顔を！道連絡会」は、介護事業所、介護労働者、介護利用者とその家族への感染問題の影響について、道内の介護事業所を対象にアンケートをはじめました。

5月21日、道内の3444の介護事業所（訪問介護・訪問看護・デイサービス・ショートステイ）に、アンケート用紙を送付しました。翌日の22日には、全道各地から、回答FAXがぞくぞく寄せられ、350件（送付件数の1割以上）を超えるました。介護事業所から、深刻の実態と改善を求める切実な声が寄せられています。



事態は深刻 求められる国や自治体の感染対策の拡充

アンケートから

防護服・消毒液など足りません

感染予防の材料が不足していると多くが回答。

8割・9割減収、事業休止した事業所も

前年同期（3～4月の1ヶ月平均）との収益の変化では、「減収した」と回答した事業所の中では、9割減少した事業所も。「事業休止した」事業所では、その理由について、感染リスク回避、人員体制困難と回答しています。

「恐怖と隣合せで仕事をしている」ストレス、退職・休職も

職員への影響では「恐怖と隣合せで仕事をしているため、精神的に追い込まれている」（訪問介護）、「給料が減額になるのではないかと不安」（減収したデイサービス）と

アンケートの主な項目

- (1)マスクは足りていますか (2)防護服は足りていますか
- (3)消毒液は足りていますか (4)消毒液は足りていますか
- (5)前年同期と比較して、新型コロナ感染の影響で収益は変化しましたか？①減収・②変わらない・③増収・④事業休止・⑤その他
- (6)減収の規模をお聞きします 前年同期比で何割減収
- (7)事業を休止した理由をお聞きします ①感染リスク回避・②人員体制困難・③感染者の発生・④その他
- (8)職員への影響（メンタルヘルス不全・休暇・退職など）
- (9)利用者・家族への影響
- (10)国・自治体に何を求めますか？ 選択肢あり

の回答も。すでに退職者や小学校休校に伴う休職者なども。職員体制はもともと困難中、さらに大変に。

利用者の心身機能低下、家族の介護疲れなど心配

利用者や家族への影響では、「一人住まいの方が多く感染が心配」（訪問介護）、「通常通りのデイサービスを行うことができないため、体力面、メンタル面の低下がみられる」、「休止の方が多かった。閉じこもりになり、認知症やADL低下」（訪問看護）など、利用者を心配する回答も多く、「自宅にいる時間が増えストレス増や介護疲れ、虐待につながる危険度増加」などを心配する回答も。

中には、「同居家族が感染し利用者が濃厚接触者として2週間自宅で経過観察となった」、「訪問拒否の利用者が2～3人出ています」などの声も。

医療に比べて介護に対応なおざり 国に対応策望みます

「国は医療関係が要として対応していますが、介護に対する対応はなおざりに思います。介護職員は、感染リスクの恐怖にさらされながらサービスを提供しています。まして感染が蔓延てしまえば高齢者なので免疫力も低下しているので非常に脅威です。職員・利用者で感染症が一人でもれば、事業を休止しなければなりません。事業者にとっては死活問題です。これから発生する2次感染に向けて対応策を講じていくように国には望みます」。

国や自治体への切実な要望も多く寄せられています。

アンケートは5月末でまとめ、6月中旬に記者発表し、行政へ要請します